

BTCC

新規口座開設限定

BTCC口座開設&入金で、最大**17500USDT**が獲得できる。
お友達を紹介するとさらにボーナスをプレゼント!

今すぐ口座開設/詳細はこちら



プラチナ：プラチナの定義、金との価格比較、価値を高める主な要因

原文:

<https://www.btcc.com/ja-JP/academy/financial-investment/platinum-definition-of-platinum-price-comparison-with-gold-main-factors-that-increase-its-value>



貴金属は長い間、投資ポートフォリオにおいて独自の地位を占め、投資家に資産分散のための安全な避難所を提供してきた。何世紀もの歴史の中で、金、プラチナ、そしてそれらの派生商品は、最も人気のある金融商品のひとつであり続けている。しかし、金、プラチナ、白金の違いは多くの人にとって謎のままである。

この包括的なガイドの目的は、これら3つの貴金属の違いを解き明かし、その特性、用途、市場動向を詳細に分析することである。金の永遠の価値、プラチナのユニークな合金組成、プラチナの希少性と工業的複雑さについて掘り下げる。

調査をさらに掘り下げると同時に、景気後退、市場の不安定性、否定的なセンチメント、地政学的影響

などの要因を考慮に入れながら、市場におけるこれらの金属の現在の価格動向も評価する。特に、プラチナが不確実な経済情勢下で安定を求める投資家にとって、実行可能な安全資産であるかどうかを検証する。

- [プラチナ定義と用途](#)
- [プラチナ価格の動向：年間動向と分析](#)
- [2024年と2025年のプラチナ価格見通し](#)
- [貴金属への投資プラチナ投資ガイド](#)
- [プラチナ価格を金とプラチナと比較：洞察に満ちた分析](#)
- [ホワイトゴールドとプラチナの価格比較](#)
- [プラチナの優位性プラチナに投資する理由](#)
- [プラチナ価格に影響を与える基本的要因](#)
- [結論の要約](#)

プラチナ定義と用途

この希少な銀白色の貴金属は、工業や宝飾品に多くの用途がある。以下は、プラチナの価値を強調する重要な事実である：

- 地殻中に存在する金の約30倍で、金よりも希少価値が高い。
- プラチナは自動車用触媒コンバーターの重要な構成要素であり、有害な排気ガスを削減する上で重要な役割を果たしている。また、宝飾品、電子機器、化学加工産業にもプラチナが使用されており、プラチナの用途の広さと重要性が証明されている。

ジュエリーにおいて、プラチナは頂点に君臨している。その希少性と、高い光沢、耐摩耗性、可鍛性などの優れた特性により、豪華で華麗なジュエリーの制作にプラチナが選ばれています。婚約指輪や結婚指輪にプラチナがよく使われるのは、その日常的な着用に耐える能力と、時代を超越したエレガンスにあります。しかし、プラチナは希少で高価であるため、現在では多くのジュエリーが、他の金属にプラチナをコーティングしたものとなっています。



[Google Playで手に入れよう](#)

[App Storeからダウンロード](#)

[日本ユーザー様限定特典（10,055USDTギフトパック）<<<<](#)

プラチナ価格の動向：年間動向と分析

この上昇基調に続いて安定期が訪れ、1980年代から20世紀末まで、プラチナ価格は400～600米ドルの範囲で推移した。このように比較的安定しているにもかかわらず、プラチナは依然として変動の激しい商品であり、投資家には価格変動を利用する十分な機会が与えられている。

過去20年間で、プラチナ価格は73%上昇し、1オンス当たり約380ドルに相当する。にもかかわらず、プラチナは大きな変動を続けており、投資家にダイナミックな市場を提供している。プラチナは、工業用途の貴金属というユニークな立場から、永続的な魅力と市場関連性を有している。

この時期、プラチナは金の代替品として人気を博し、その市場価値はさらに高まった。加えて、ダイヤモンド・ジュエリーの製造に広く使用されたことで、プラチナの魅力と需要が高まった。しかし、2008年後半に状況は一変した。

その後、プラチナ価格が回復し、プラチナは市場で足場を固め直した。2010年から2015年にかけて、プラチナは1オンスあたり1,400~1,600米ドルの範囲で取引され、プラチナの回復力と市場の変動に耐える能力が実証された。しかし、金と同様、2015年以降は、連邦準備制度理事会（FRB）の利上げを受けて投資家が貴金属を売却したため、プラチナも市場での地位を維持する上で困難に直面した。

しかし、近年はプラチナ投資家の間で楽観論が復活している。米連邦準備制度理事会（FRB）が2024年と2025年に利下げを示唆したことが追い風となり、プラチナ価格は2023年末から力強く反発した。

加えて、現在の地政学的情勢もプラチナ相場の変動要因となっている。ウクライナと中東で進行中の紛争は収束の兆しを見せず、世界のプラチナ供給はさらに逼迫すると予想される。これとプラチナ需要の増加が相俟って、今後数カ月はプラチナ価格が大きく変動する可能性がある。

2024年と2025年のプラチナ価格見通し

2024年と2025年のプラチナ価格予測は、投資家がダイナミックな貴金属市場をナビゲートする際の重要な洞察を提供する。LongPredictionの分析によると、プラチナは新たな高みに達し、2024年12月に1,064米ドルでピークに達し、2025年末までに1,085米ドルを超えると予想される。

しかし、CoinPricePredictionは少し違った見方を示している。彼らは、プラチナが今年末までに1,061ドルに達すると予測し、短期的には安定を示唆し、2020年までに1,170ドルまでさらに大幅に上昇すると予測している。金よりも透明性が低い。この不透明性から、プラチナに関心を持つ投資家は、オンライン投資チャネル、特にプラチナCFD取引を模索することが多い。これにより、投資家は実際にプラチナを所有することなく、プラチナ価格の変動を利用することができ、柔軟かつ効率的に市場に参加することができる。



[Google Playで手に入れよう](#)

[App Storeからダウンロード](#)

[日本ユーザー様限定特典（10,055USDTギフトパック）<<<<](#)

貴金属への投資プラチナ投資ガイド

以下の戦略的アプローチを通じて、貴金属、特にプラチナへの投資の可能性を解き放とう。第一に、ETF（上場投資信託）を、プラチナのようなコモディティのリターンを模倣するパッシブな投資手段と考える。主なプラチナETFには、PPLT（ETFsプラチナ現物株ETF）、PLTM（ファースト・トラストISEグローバル・プラチナ・インデックスETF）、PTM（E-TRACS UBSロング・プラチナETN）などがある。これらは、投資家が現物を所有する必要なく、プラチナ市場に容易にアクセスできるようにするものである。さらに、先物契約もプラチナ投資のもう一つの方法であり、そこでは買い手と売り手が将来の価格を固定することに合意する。先物契約によって、投資家は価格変動をヘッジし、市場動向を推測することができる。プラチナ投資でポートフォリオを多様化し、財産を守るために、これらの選択肢を検討してみよう。

ポートフォリオを多様化し、貴金属の安定性と可能性を活用したいとお考えですか？プラチナは金と同様、安定と成長を求める投資家にユニークな機会を提供します。以下は、リターンを最大化するための様々な戦略を用いた、プラチナおよびその他の貴金属への投資方法に関する包括的なガイドである。

1. 先物取引の取引

金とプラチナの先物契約は、主要取引所で特定の銘柄コードの下で取引されている。これらの契約により、投資家は原資産を所有することなく売買ポジションを取引できる。先物取引は投資家の価格予想に焦点を当て、市場予想が正確であれば大きな利益を得られる可能性がある。金とプラチナ先物の主要取引所には、COMEX、NYMEX、TOCOM、MOEXなどがある。

2. 鉱業株への投資

金とプラチナへのエクスポージャーを得るもう一つの方法は、これらの貴金属を採掘する鉱山会社の株式に投資することである。گران・コロンビア・ゴールド社（GCM.TO）、バリック・ゴールド社（ABX.TO）、プラチナではキンロス・ゴールド社（ANGPY）、インパラ・プラチナ社（IMPUY）、シバニー・スティールウォーター社（SSW）などの金企業に投資することで、コモディティに投資するだけでなく、これらの鉱山会社の運営や経営にも投資することになる。この戦略は、コモディティ価格の上昇と、鉱山会社の経営による上昇の可能性の両方をもたらす可能性がある。

3. 差金決済取引（CFD）の活用

CFD（差金決済取引）は、低資本投資と高レバレッジで金やプラチナを取引したい投資家に人気の選択肢となっています。CFDは、投資家が資産や商品の現在価格と将来価格の差から利益を得ることを可能にするデリバティブ商品です。CFDの主な利点は、貴金属の現物保管を必要としないため、投資家の保管コストを節約できることです。さらに、CFDは、市場の両方向で取引する柔軟性を提供し、価格の上昇と下落の両方のトレンドを利用することができます。

4. 市場動向の分析

貴金属に投資する前に、市場動向を分析し、価格に影響を与える要因を理解することが重要である。経済指標、地政学的イベント、需給力学を考慮し、十分な情報に基づいた投資判断を下そう。これらの傾向を理解することは、リターンを最大化しリスクを最小化するためのエントリー・ポイントとエグジット・ポイントを特定するのに役立ちます。

5. ポートフォリオの分散

投資戦略を成功させる鍵は分散投資であることを忘れてはならない。プラチナのような貴金属は安定性と成長の可能性をもたらすが、複数の資産クラスに分散投資することも重要である。全体的なリスクを減らし、バランスの取れた成長を確保するために、他のコモディティ、株式、債券、現金等価物をポートフォリオに加えることを検討しましょう。

プラチナ価格を金とプラチナで比較：洞察に満ちた分析

プラチナはかつて貴金属市場の明確なリーダーであり、伝説的な金をも凌ぐ最も尊敬される地位にあった。2008年、プラチナ価格は1オンスあたり2,200ドルを超える史上最高値を記録し、投資の世界におけるプラチナの絶大な優位性を象徴した。しかし、2011年にプラチナ価格が1オンスあたり1,921米ドルまで下落し、プラチナの運命に大きな変化をもたらした。

2012年はプラチナを語る上で極めて重要な年だった。投資家がより安全な逃避先として金を選好する傾向が強まり、プラチナの支配は終わった。金は「通貨との交換価値」が認められている金属というユニークな立場から、インフレや経済不安に対するヘッジとして好まれたのである。その後の世界経済の混乱は、この心理の変化をさらに悪化させた。

米中貿易戦争、香港と中国の地政学的状況、COVID19のパンデミック、ロシアとウクライナの戦争などの出来事により世界経済が不確実性に直面する中、投資家は金に避難先を求めた。金への資金流入は金価格を最高値に押し上げる。2022年3月、金は1オンスあたり2,070米ドルの史上最高値を記録し、激動する経済情勢における金の回復力と魅力を実証した。

これとは対照的に、プラチナの運命は産業部門の需給の動きに大きく左右される。プラチナは、自動車用触媒コンバーターの製造、石油精製、化学およびエレクトロニクス産業におけるさまざまな用途の主要成分である。そのため、プラチナ価格は、主にロシア、南アフリカ、ヘレウスから供給される世界的な供給量と密接に結びついている。その結果、プラチナ価格は、これらの産業からの需要の増減によって大きく変動する。

プラチナと金を比較した場合、この2つの金属が投資対象として異なる位置を占めていることは明らかである。安全資産としての金の評判は十分に検証されており、安定と安全を求める投資家にとって依然として魅力的である。一方、プラチナは依然として貴重な商品ではあるが、工業セクターとの結びつきが強く、その価格動向は世界的な需給によって決定される。



[Google Playで手に入れよう](#)

[App Storeからダウンロード](#)

[日本ユーザー様限定特典（10,055USDTギフトパック）<<<<](#)

ホワイトゴールドとプラチナの価格比較

宝飾業界におけるホワイトゴールドとプラチナの価格比較は永遠のテーマです。Creditdonkeyの分析によると、この2つの金属の価格差は大きい。例えば、同じスタイルで同じ厚さ（例えば2ミリ）の指輪を考えると、その価格差は明らかです：

* 14Kホワイトゴールド：240ドル、ジュエリー愛好家にとって手頃でエレガントなオプション。

* :: 18Kホワイトゴールド：価格は580ドルで、品質とコストのバランスが取れており、より多くの人々にアピールできる。

* :: プラチナ：価格は820ドルで、豪華さと高級感の典型です。

価格を詳細に比較すると、プラチナは18Kホワイトゴールドよりも41%高価であり、大幅なコスト増であることがわかる。さらに、14Kホワイトゴールドと比較すると、プラチナの価格は3.5倍近くに跳ね上がる。この価格差は、プラチナのプレミアムを際立たせ、最高級のジュエリーのクラフツマンシップと素材を愛する人々の垂涎の的となっている。

プラチナの優位性プラチナに投資する理由

今日の不透明な経済状況において、プラチナは、賢明な投資家に数多くの利点をもたらす魅力的な投資

オプションとして際立っている。第一に、プラチナの希少性（金の15倍の希少性）は、インフレと経済の不安定性に対する強力なヘッジとなる。地政学的な混乱や景気後退の時代には、金や銀と同様、プラチナも安全資産と見なされることが多く、投資家の資本保全と成長の可能性を保証する。

プラチナ価格のボラティリティの高さは、一部の投資家にとって難題である一方、大きな収益機会でもある。流動性の高い金や銀の市場とは異なり、プラチナに投資するには、市場の動向を見極め、価格変動に対応する姿勢が求められる。しかし、そのような変動に対応できる投資家にとっては、潜在的なリターンは莫大であり、プラチナはあらゆる投資ポートフォリオに加わるエキサイティングな投資対象である。

加えて、プラチナは主要産業で広く使用されているため、その投資価値はさらに高まる。銀に次いで世界で2番目に希少な工業用金属であるプラチナは、さまざまなハイテクおよび先端製造プロセスで重要な役割を果たしている。化石燃料の消費削減とクリーンエネルギーの推進に世界的な関心が高まるなか、グリーン水素製造用の電解槽や燃料電池車の製造におけるプラチナの使用は急増すると予想され、プラチナ投資の重要な成長市場が形成されるであろう。

自動車産業が大きな変化を遂げるなか、プラチナが有望な投資機会として浮上している。近年、パラジウム価格がプラチナの2倍以上に高騰しているため、メーカー各社は、コスト効率のよい代替品としてプラチナ合金を選ぶようになってきている。この戦略的な動きは、プラチナの万能性を際立たせるだけでなく、投資家にこの貴金属の需要拡大を利用するまたとない機会を提供するものでもある。

2022年3月、パラジウム相場は重要な節目を迎え、3,300米ドルの大台を突破して過去最高値を更新した。大幅な価格上昇は、プラチナが自動車産業の貴金属需要の大きなシェアを獲得する可能性を強調するものである。パラジウム価格が上昇を続ければ、プラチナの費用対効果と入手可能性は一層魅力的なものとなり、需要の急増とそれに伴う価値の上昇への道が開かれるであろう。

加えて、現在のプラチナ供給パターンは投資家にさらなるインセンティブを与えている。世界プラチナ投資評議会が2022年6月初めに発表した報告書によると、プラチナ市場の供給量は低水準にあり、ロシア制裁の影響による供給途絶の可能性に直面している。この供給不足は投資対象としてのプラチナの魅力をさらに高めるものであり、その希少性と限られた入手可能性が近い将来の価格上昇につながる可能性が高いからである。

プラチナは、その独特の工業的需要によって他の貴金属と区別される。プラチナ需要の約60%は工業用市場からのものであり、自動車触媒から宝飾品、歯科に至るまで、プラチナは重要な構成要素となっている。このような旺盛な工業用需要により、プラチナ価格の変動は需給の動きと密接に結びついており、投資家は十分な情報を得た上で意思決定を行い、市場の変動を利用することができる。



[Google Playで手に入れよう](#)

[App Storeからダウンロード](#)

[日本ユーザー様限定特典（10,055USDTギフトパック）<<<<](#)

プラチナ価格に影響を与える基本的要因

プラチナ価格の変動を理解する上で、いくつかの重要な要因が関与している。第一に、金属としてのプラチナの希少性と、南アフリカやロシアなどの主要生産国からの集中的な世界供給が重要な役割を果た

している。ストライキや政情不安など、プラチナの採掘と生産に混乱が生じれば、供給が大幅に引き締められ、最終的に価格が急騰する可能性がある。加えて、自動車産業、宝飾品、化学・工業用途などの主要産業からの需要の変動もプラチナ価格に大きな影響を与える。これらの産業で需要が増加すれば価格が上昇し、需要が減少すれば価格が下落する可能性がある。

さらに、特定の用途でプラチナをパラジウムやロジウムなどの他の金属に置き換えることができるかどうかは、プラチナの需要と価格に直接影響を与える。これらの代替金属が普及すれば、プラチナの代用品として機能し、プラチナ全体の需要を減らして価格を下落させる可能性がある。加えて、触媒コンバーターに使用されるプラチナの量が少ない電気自動車の人気の高まりなど、技術の進歩や業界のトレンドの変化は、長期的なプラチナ需要に大きな影響を与える可能性がある。より効率的で環境に優しい自動車を求めるこうした傾向は、プラチナ需要を減少させ、ひいてはプラチナの価格形成に影響を与える可能性がある。

プラチナ価格を決定する上で、地政学的力学も同様に重要な役割を果たす。制裁措置や貿易紛争を含む政治的・経済的緊張は、プラチナのサプライチェーンを混乱させ、世界の供給、ひいてはプラチナ価格に影響を及ぼす可能性がある。主要なプラチナ生産者の地理的位置とそれぞれの政治的・経済的安定性は、価格変動の重要な要因である。これらの地域が不安定になると、供給が途絶え、プラチナ価格が上昇する可能性がある。

投資マインドもプラチナ価格を左右する重要な要因である。プラチナ先物市場とETF市場における投機的取引と投資の流れが短期的な価格変動を決定することが多い。加えて、投資家がプラチナを安全資産と見なすと、特に経済や政治が混乱したときに投資需要が大幅に増加し、価格がさらに押し上げられる可能性がある。

規制政策もプラチナ価格に大きな影響を与える。排ガス規制やグリーン技術奨励策など、政府のイニシアティブは、特定の産業用途におけるプラチナ需要に影響を及ぼす可能性がある。このような政策は、自動車産業や宝飾品産業などのプラチナ需要を牽引し、プラチナ市場価格に影響を与える。加えて、採掘規制や環境政策の変化がプラチナの供給量に影響を及ぼし、その結果、プラチナ価格がさらに変動する可能性がある。

結論の要約

今日の激動する経済において、金やプラチナなどの貴金属への投資は、安定性と潜在的なリターンを求めるトレーダーにとって、依然として人気のある選択肢である。金は長い間、安全資産として人気を博してきたが、プラチナには投資対象として有効な独自の利点がある。しかし、世界経済の複雑さを考えると、これらの金属のパフォーマンスを予測することは困難である。金やプラチナへの短期投資は、機敏さと柔軟性を求めるトレーダーにとって効果的な戦略かもしれない。このアプローチにより、投資家は市場のトレンドを利用し、資本を迅速に回収し、それに応じてポートフォリオを調整することができる。リスクをヘッジするためであれ、ダイナミックな市場で利益を得るためであれ、金やプラチナなどの貴金属への短期投資は、トレーダーにとって魅力的な機会を提供する。